

千葉市議会議員

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.42



代表質問に登壇しました。

■新型コロナウイルスのワクチン接種について

【質問】 1・2回目接種で生じた課題に対する検討状況

【市の答え】 一般向け予約枠を集団接種の予約枠とともに本市が一元的に管理することとし、各医療機関の一般向け予約枠についても千葉市ワクチン接種予約サイトや千葉市コロナワクチン接種センターを通じて、1月中旬を目途に予約受付の開始に向けて準備。

●追加(3回目)接種について

初回(1・2回目)接種の完了から7か月以上経過した方に対して行う。ただし65歳以上の方は初回接種の完了から6か月(2月以降)。

★接種券発送スケジュール

(1)65歳以上の高齢者の方 (2)64歳以下の方

→2回目接種から6か月後

→2回目接種から7か月後

(3)医療従事者等及び

高齢者施設等の従事者の方

→2回目接種から6か月後

(変更なし)

2回目接種を受けた時期	発送予定日	2回目接種を受けた時期	発送予定日
令和3年6月	1月17日(月)	令和3年6月	1月31日(月)
令和3年7月1日~10日	1月24日(月)	令和3年7月	2月15日(火)
令和3年7月11日~20日	1月31日(月)	令和3年8月	2月22日(火)
令和3年7月21日~31日	2月7日(月)	令和3年9月	3月22日(火)
令和3年8月	2月7日(月)	令和3年10月	4月19日(火)
令和3年9月	2月22日(火)	令和3年11月	5月24日(火)
令和3年10月	3月22日(火)		
令和3年11月	4月19日(火)		
令和3年12月	5月24日(火)		

※市民の方は、接種券が届き次第、個別接種(市内医療機関で行う接種)又は集団接種(千葉市が設置する公共施設等で行う接種)の各接種会場の予約可能な接種枠を予約して接種を受けることができます。ただし、2回目接種から7か月(65歳以上の方は6か月)を経過している必要があります。

※今後の国の方針によって接種券配達スケジュールを見直すことがあります。

★集団接種会場(最大6会場)の開設日及び開設時間

会場名	開設する曜日・時間	開設日	接種規模(標準)	使用するワクチン
千葉中央コミュニティセンター6階	週1日(日曜日) 9:00~17:00	開設済み	640人/日	ファイザー社製
	週5日(月~金曜日) 18:00~21:00		240人/日	
花見川保健福祉センター2階	週2日(土、日曜日) 10:00~17:00	1月15日(土)	320人/日	ファイザー社製(1月) モデルナ社製(2月~)
イコアス千城台2階	週7日 10:30~18:30	1月15日(土)	800人/日	ファイザー社製(1月) モデルナ社製(2月~)
新設する会場	イオンモール幕張新都心グランドモール2階イオラウンジ	1月17日(月)	400人/日	ファイザー社製(1月) モデルナ社製(2月~)
	蘇我コミュニティセンター4階	2月4日(金)	720人/日	モデルナ社製
ワンズモール3階【臨時】	週6日(木曜日以外) 10:30~19:30	2月1日(火) ※3月までの予定	800人/日	モデルナ社製

※上記は、2月までの接種体制です。

●予約方法

●「各医療機関の一般向け予約枠」と「集団接種会場の予約枠」の予約

千葉市コロナワクチン接種センターと千葉市ワクチン接種予約サイトで行います。

★千葉市コロナワクチン接種センター

○電話: 0120-57-8970

月曜日~金曜日(祝日含む) 8:30~21:00 土曜日・日曜日 8:30~18:00

●耳や言葉が不自由な方は、EメールやFAXでお問い合わせを。

○Eメール: cv-call@city.chiba.lg.jp

○FAX: 043-245-5128

★千葉市ワクチン接種予約サイト

○[URL] <https://vaccines.sciseed.jp/chiba>

●「各医療機関のかかりつけ患者向け予約枠」の予約

各医療機関にお問い合わせください。



■家族介護者支援について

【質問】 家族介護者支援の現状と課題認識について

【市の答え】 身体的、精神的又は経済的な面で過度な負担を負うことによって、日常生活に支障をきたし、就学・就労の機会や社会との関わりを失うなどのおそれがあることから、相談でき、的確な助言などを行い、早期に適切なサービスの利用に繋げる体制の整備が重要。地域ケア会議で支援方法などを共有している他、地域自立支援協議会の運営を通じて、各相談機関の連携強化や支援が必要な人を地域全体で支える地域づくりにも取り組んでいる。九都県市首脳会議で国に対し、ケアラー自身が支援を受けられるサービスの創設を含めた具体的な支援策について要望することを決定した。

家族介護者支援に関する相談先

★あんしんケアセンター

○磯辺 電話: 303-6530 ○真砂 電話: 278-0111
○高洲 電話: 278-2545 ○幸町 電話: 301-5332

★障害者基幹相談支援センター

○電話: 043-304-5454 (真砂コミュニティセンターと同敷地内隣の建物)

★ちば認知症相談コールセンター

○電話: 238-7731

※電話 月・火・木・土曜日10時~16時 ※面談 金曜日10時~16時(要予約)

実現! ヤングケアラーについて質問しました取り組みが推進されます。

…ヤングケアラーとは?…

通学や仕事のかたわら、障害や病気のある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話をしている18歳未満の子どもを指す。介護のために学業に遅れが出たり、進学や就職を諦めたりする場合もあり、実態の把握が急がれている。



千葉日報においてコメントが掲載されました。

千葉日報
令和3年12月18日付掲載

【質問】 本市における実態と課題について

【市の答え】 家庭内のデリケートな問題であることや、社会的認知度の低さからも表面化しにくく、実態調査が実施されていないため実態について十分に把握できていない。リーフレットを作成し教職員に啓発を図ってきたが、福祉、学校等の関係機関における研修等は十分ではなく、認知度を向上させるための研修等を推進する必要がある。

【質問】 今後の取組みについて

【市の答え】 実態把握をするため、市立小・中・高の児童・生徒を対象としたアンケート調査を実施し、年度内に報告書を取りまとめ、今後の支援体制の構築について検討。国が来年度から3年間を認知度向上の集中取組期間としているため、関係機関職員の理解を深める施策を推進する。

■市立病院について

【質問】 青葉病院が強みとする医療と今後の方向性について

【市の答え】 救急医療、血液内科、整形外科、身体疾患をもつ精神疾患や児童精神疾患への対応が強み、救急医療では患者受入れを積極的に行い、夜間の救急搬送は市内でトップクラスの受入件数。血液内科では白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液がんに対応。整形外科においては地域医療の基幹病院として近隣の病院等と連携を図り、整形外科全般にわたる疾患・外傷に対応、児童精神疾患においては専用の病棟での入院治療を行うなど、専門的かつ幅広い医療を提供。感染症指定医療機関は市内では二か所指定を受けておりその一つとして、新型コロナ感染症発生時から患者の受入れ、1,500人を超える患者への対応を行った。

【質問】 周産期医療の海浜病院での現状と新病院での方向性と、新病院の経営見通しについて

【市の答え】 千葉医療圏内で唯一ハイリスクな分娩から低出生体重児、小児先天疾患や小児慢性疾患等の小児特有の疾患有った成人の移行期患者の出産管理などを周産期・小児医療を一連で対応できる体制を有している。周産期入院患者の30%程度が市外医療機関からの紹介で千葉県内全域をカバーする拠点病院として新病院が担う役割は大きい。新病院では、高度な周産期医療に対応するための機能強化や、患者の病態に応じた治療体制の整備など、成長に応じた切れ目のない医療提供の体制整備を実施する。新病院の経営見通しは、開院後一定期間は、新病院整備に係る減価償却費等の影響により損失が生じるものと見込んでおり、開院後できるだけ早期に黒字を確保できるよう収益の増加と費用の抑制に取り組む。



実現! 新病院構想計画が公表され、求めていた、災害医療、がん治療、総合相談体制の強化が盛り込まれました。

開院時期

令和7年度予定

診療科目

現海浜病院の診療科目の他に呼吸器外科、腎臓内科集中治療科、歯科口腔外科、緩和ケア科を加わえ高度・救急医療やがん診療を提供。
また、夜間救急診療も継続して受け入れていきます。

病床数

成人・高齢者病床 214床(現病院161床)集中治療室8床を含む周産期・小児・移行期病床119床(現病院132床)合計333床(現病院293床 新病院+40床)



新病院構想計画イラスト



発行：たばた直子事務所

住所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂3-4-4 2F
千葉海浜交通 稲毛海岸駅発～稲毛駅行きバス 真砂第三公団バス停前
TEL：043-216-3861 FAX：043-216-3891
メールアドレス：info@tabatanaoko.com
ホームページ：http://tabatanaoko.com



子育て臨時給付金「全額現金給付」を討論と要望書で求め、昨年12月に一括給付を実現!

国では現金とクーポンによる給付が検討されていましたが、追加議案の審議において、迅速かつ効果的な給付のため、現金給付を要望。私は賛成討論と要望書作成を担当しました。行政の尽力で、児童手当受給世帯は昨年12月に一括給付することができました。それ以外の世帯は、申請制となります。また9月以降に離婚をされた方は、保健福祉センターにお問い合わせください。



子育て世帯等臨時特別支援事業での「全額現金給付」等を求める要望書

現在、国が示している「臨時特別給付金」事業は、年内支給を目指す「現金給付」と来年春頃に支給予定の「クーポン給付」が想定されています。クーポン給付については、現金給付と比較して、新たに967億円もの事務経費がかかることや、支給事業を担う地方自治体においては事務作業の煩雑化等による負担増大など、問題点が多く指摘されています。

先行きの見えない生活不安を取り巻く中で、我が会派としては、子育て世帯が利用しやすく、生活の安定に資するような給付のあり方が追求されるべきであり、先行給付金の迅速な支給とともに、2回目の給付については、「クーポン給付」ではなく「現金による給付」が望ましいと考えることから、本市におきましては、「全額現金給付」での事業展開がはかられるよう要望いたします。

また、先行給付金については、対象となる子育て世帯への確実な給付が重要であり、DV等のさまざまな理由で、対象児童とともに別居を余儀なくされている保護者等が受給できるよう、丁寧な取り組みも求められます。対象世帯への丁寧な情報提供・周知に努めるとともに、DV被害世帯への支給申請手続きにおいては、加害者への情報漏洩等が生じないような配慮も求める次第です。

今後の事業展開につきましては、国の動向などに左右される部分があることも承知しておりますが、我が会派といたしましても、市民生活の安心と安定を構築するために、行政とより一層の連携・協力を図りながら行動していく決意です。最後に重ねて、以下の事項を要望申し上げ、緊急の要望とさせていただきます。

- 1 「臨時特別給付金事業」については、2回目の支給は「クーポン支給」ではなく、「現金支給」で実施すること
- 2 先行給付金については、対象世帯への確実な支給を進めるとともにDV等のさまざまな理由によって、給付金受給に困難が想定される世帯についても、丁寧な情報提供や十分な配慮を行い、着実に支給できるように取り組むこと



新型コロナ感染者のための千葉県の臨時医療施設と宿泊施設を視察。

施設は、稲毛区にある、ちばぎん研修センターを活用し、臨時医療施設(110床)宿泊療養施設(50床)を民間に委託し稼働します。臨時医療施設は、重症化リスクのある軽症患者対象で、抗体カクテル療法や酸素吸入等を実施し、重症化を防止し、入院待機施設も兼ね、経過観察用個室も完備されています。宿泊療養施設は軽症や無症状の方々が対象で、敷地内に新設したプレハブ型で、個室には、シャワーも完備されているほか、家族で療養される方向けの部屋も完備しています。療養施設は市内に県と市が運営している3か所がありましたが、この施設の開設により第6波への安定的な対応につながると考えます。

